

競技監督  
大会事務局  
2025 年 9 月 12 日

《JP250》

## ブリーフィング資料

1. ピットレーン制限速度は 60km/h となります。速度計測開始ラインは、ピットレーン入口のホワイトライン、速度制限終了ラインはピットエンドラインとなります。
2. コースインについて  
コースインの際にはピット出口右側ホワイトラインを跨がずに本線に合流し、2コーナーを通過するまでコース左側を走行すること。  
公式予選時は、ピットレーン出口で一旦停止し、オフィシャルによるタイヤマーキングの確認を受けてからコースインすること。
3. ピットインについて  
ピットインの場合は、最終コーナー進入時にコース左側に寄り、手や足で合図を出してピットインすること。ピットレーン入口のホワイトラインを横断しないこと。
4. ライトパネルについて  
全ポストに旗信号の補助として、ライトパネルを使用しますが、旗信号が優先されます。
5. ショートコースについて  
第2ヘアピン(10 番ポスト～10.1 番ポスト)からショートコースを使用し最終コーナー側へ合流しないこと。
6. スロー走行について  
スロー走行する場合は、進行方向左側(ピット設置側)を走行すること。スロー走行中レコードラインと接近する場所を走行するときは、お互いに注意して、追突等がないように周囲に注意して走行すること。特に、スロー走行車両の直後でライン変更等をしないよう、余裕を持ってライン変更すること。
7. スタート練習について
  - ・公式予選・ウォームアップ走行・決勝レースサイティングラップ時に、ピットレーン出口左側からコースに合流するまでの区間でスタート練習を行うことができる。(後方確認し、ピットアウトしてくる車両に注意すること)
  - ・公式予選以後に行われる全走行のチェッカー後、2 番ポスト先～2.5 番ポスト先までの進行方向右側(イン側)でスタート練習を行うことができる。
8. サイティングラップ終了後にグリッドに移動する場合は、グリッド後方で赤旗を持ったオフィシャルが立っている場所で、一旦停止し、エンジンを停止後、手押しで所定のグリッドに移動すること。その際、ライダーが乗車した状態で、チームクルーが押し歩くことは可能です。
9. ウォームアップラップの合図について  
ウォームアップラップのスタート合図は、スタートタワー(NGKタワー)から緑旗を表示。緑旗提示後、先頭より順次波状スタートすること。マシンをスタート出来ないライダーは腕を上げ可能な限り合図を行い、後続車に停止状態を知らせなければならない。

＜裏面に続く＞



#### 10、反則スタートについて

スタートシグナル赤点灯、2～5秒後、赤消灯にてスタート

スタートシグナルの赤が点灯してから消灯するまでの間に動いた場合、反則スタートと判定する。

反則スタートに対するライドスルーボードは、フラッグタワー (YAMAHA タワー) 下のコンクリートウォール上と、10 番ポストの2箇所にて提示する。

#### 11、チェッカーフラッグ

チェッカーフラッグはコントロールライン (YAMAHA タワー) とその下部から提示される。チェッカー後はレクサスブリッジを通過するまで減速せず、そのままのスピードで走行する事。

#### 12、車両誘導予定 ★インター/ナショナル各クラス 1～3 位、および各メーカー1位車両

→メインストレート中央に停車。(ポディウム前)

※最終コーナーから十分に減速して停車してください。(ウイリー禁止)

車両は暫定表彰式終了後、車検場へ。

★再車検対象車両： オフィシャルの誘導に従い車検場へ直行。その他の車両は、各自のピットへ。

・表彰式は、コース向かい側のポディウムにて行います。対象ライダーと優勝チーム監督の1名のみ中央ゲートからコースを横断して、暫定表彰式会場へ移動可能です。

#### 13、過去のレースイベントにおいて、給油中に発火するトラブルが発生しております。今一度給油手順の見直しと、燃料の取扱いについて、細心の注意を払っていただきますようお願いいたします。

以上